

熱気につつまれて

成功におわった分散公演

人形劇カーニバル86飯田が八月七日から十日まで行なわれた。竜丘でも各分館で分散公演が行なわれ、初めての取り組みで不安を感じていたが、盛況に終わった。来たる88世界人形劇フェスティバルの成功に向け、人形劇カーニバルの定着を図る為にも、今回の竜丘の試みを全市に広げていく事が必要ではないだろうか。

第八回、人形劇カーニバル86飯田が四日間の日程で開催され、当竜丘地区でも五会場で行なわれました。

八日 竜丘公民館にて

◎どんきい劇場
開善寺本堂にて

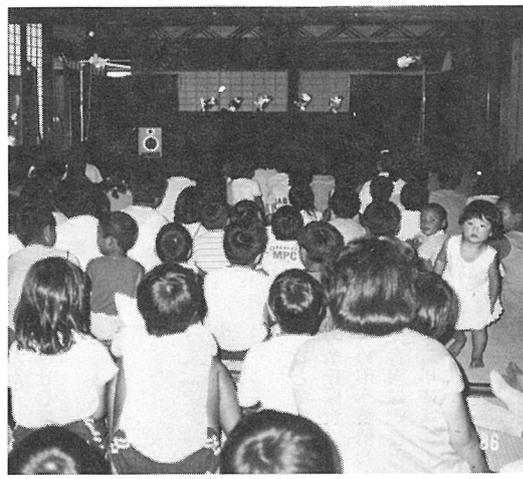
◎わんわんぐるらぶ
◎がんばるシアター86

九日 桐林区民センター
◎百鬼人形芝居どんどう
◎名古屋大学人形劇サークルどんぐり

十日 駄科公民館
◎小さな世界人形劇場
あいす・くりーむ
◎人形劇紙ひこうき
◎つばくろ人形座
◎長野原区民センター
◎奈良佐保女学院短大
えのぐばこ

以上の九劇団で、分散公演が行なわれた。

一人の劇団、五〜六人の劇団、十人以上の劇団と規模もさまざまであったが、



公演大成功 (開善寺本堂にて)

どこでもすぐ上演出来る様に、道具(舞台)等持ち運びやすい工夫がされていました。

小さな人形、等身大程ある人形を巧みにあやつり、まるで生きてくるかの様な人形で昔話や創作劇をつぎつぎと上演した。子供達に

もわかりやすい内容で、誰もが人形劇に吹込まれたい入る様に、又小さな子供づれの親子は、子供に劇の内容を補助するかの様にやさやかながら、保育園児は全員がそろってなごやかに観劇していました。

分散公演に先立って各会



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田22-5353

人口	5,982人
男子	2,867人
女子	3,115人
世帯数	1,642戸
(8月1日現在)	

農業は今……

農業青年は訴える

「竜丘は農村です。十年前なら誰もが迷わず答えたでしょう。でも今は、そして十年後はどうでしょうか。住民の生活が変わりつつある様に、竜丘地区も大きく変わろうとしています。ひとりの農業者として、農産物自由化、農業軽視の政策の中で農業の現状に、そして将来に強く不安を感じます。今迄の養蚕を中心とした農業では今後やっていけず、かといってそれに代わる作物も見当たらない、規模拡大も容易に出来ない等等、職業として農業に自信が持てない、魅力が無いといわれる中で、農業は自分

拡大や作目選定を限定してしまっています。

竜丘が単なる農村から変わりつつある今のうちに、竜丘にも農振区域と住宅化区域の様な、長期展望に立

今年度の生産者米価の据え置きにより、来年度の減反割り当ては今年以上に減額が報道されています。これはといった転換作物がない以上、そうならば増々

た指定区を設けたり、遊休農地の幹旋、利用をスムーズに行なえる様なシステム作り等の対策を講じないと、このままでは竜丘に於ける農業は将来の見通しが立たなくなってしまう。

遊休農地や荒地が増える事は目に見えています。竜丘は今様々な開発問題で揺れ、宅地化も無策で進められています。農地は数十年、数百年かけて造られた物であり、安易な再開墾、再利用は大切な農地を失なう事になります。地域の開発は農業問題と共に考え進めていってほしいものです。

農業問題は竜丘だけの問題ではないが、今こそ農家、農協、行政が一体となって取り組まなければ、農業の未来も住み良い地域も展望できなくなってしまう。



みなさん、こんにちはーあ。

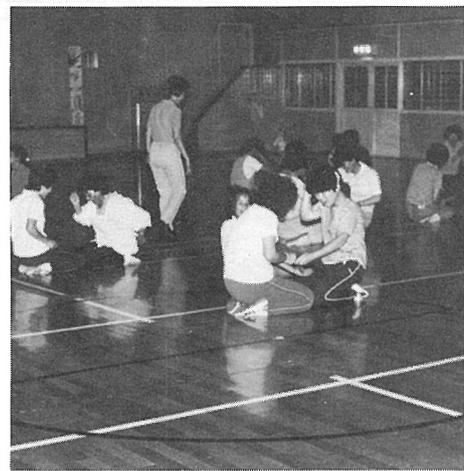
健康しませんか

健康づくり教室

体を動かしてストレスを解消し健康な身体をつくらうと、第一健康づくり教室が六月二十六日、竜丘小体育館で開かれました。

昨年から始まったこの教室ですが、本年は指導者に長坂敏子先生をお迎えし、当日もエアロビクス、リズム体操など取り入れられ楽しい雰囲気で行なわれました。講師の長坂先生は、各地で教室も開いており、集まった皆さんも正しい健康づくりを指導していただくと満足な様子。

この日集まったのは、約三十五名余りのお母さん達で、やはり普段スポーツから離れていらした方が多かったか準備体操の時には「アレッ」「痛いナァ」との声も聞かれましたが、終り頃は、リズムに合わせてのびのび楽しく体操できました。



体の調子、イイカー!!

去る六月十八日当竜丘地区に、竜丘地区観光協会が設立されました。

従来飯田市を中心とした飯田観光協会が設立組織され、その支部として、各地に設置されるはずでしたが、暫く地区商栄会観光部がそのつながりを保ちつつ一部希望者が、飯田観光協会会員として加入協力しているのが現状であり、地域の観光振興の取り組みの一つの課題とされてきました。

組織が一本化される中で今後、名所旧跡の保護及び宣伝、観光施設の充実、観光客の誘致、祭典、催し物

等の開催と協力等を行なう事が決定されました。

八月十七日、時又燈籠流しが、活動の第一歩として取り組まれましたが、生憎の雨に足出をくじかれました。

今後、万寿山桜祭り、鈴岡公園つじ祭り等の催しや、開善寺に代表される名所旧跡を中心に、観光事業を通しての地域振興が期待されます。

尚、役員は次の通りです。

会長 市瀬 時保氏
副会長 加藤新八郎氏
吉川 恒男氏

二百十日、今年も恒例の防災訓練が行なわれた。台風・地震など自然災害を防ぐことはむずかしいけれども、被害を最少限に抑止める努力と、二次的な人災を起さないことが大切である。この防災の日を契機として、我々一人一人が万一の場合何をすべきか、考えておく必要がある。

「駄科走路会」の定例会に合わせ、七月一日朝六時、眠い目をこすり駄科公民館に取材に行きました。「おはようございます。」の声と共に、二十五年からおばあさんまで二十五人も集まってきた会が始まりました。まず、塩沢会長さんよりサークルの説明を……。

駄科走路会は、昭和五十七年一月に公民館育成グループとしてスタートし、現在も続いている息の長いグループです。「自分の健康は自分で管理しよう」と健康セミナーからヒントを得て竜丘地区五分館一斉に体育館が中心になり講習会など開いてスタートを切ったわけですが、駄科だけ続いています。むずかしい、きまりはありませんが、二歩いても走っても良い。「コースは特別に定めませんが、公民館を通りぬぐるコースを自分でつくる。通過した人は、記録表へ印をつける。」「毎月一回参加出来るのが夢です。」

みなんで走れば健康地域

《駄科走路会》

日は朝六時に時間を合わせ例会に参加する。これだけの約束を進めて来ました。現在五十五名の会員がおります。小学校二年生から七十五才のおばあさんまで男女とも幅広い階層の皆さんが健康づくりに取り組んでいます。桐林、時又、長野原からも参加していただいています。仲間がもっと増えて、地区全体の人が歩こう、走ろう健康づくりに参加出来るのが夢です。

県の教育委員会にのバッチ制度に現在全員が挑戦しています。夏休みには、焼肉大会を計画して

おり、ランニングコースの設定、ユニフォームの作成など、夢と希望をもって、みんな元気になっていきます。

「体が丈夫になった」「病気がない」「雨の日は辛い」「あ」という声の中で、「公民館にある大切な記録表に、いたずらしないでほしい」というお願いもありました。ラジオ体操をして、「また七月も完走しよう」と、みんな走り出して行きました。

日本近海では、年に二十個ほど台風が発生し、そのうち三・四個が本土に影響を与えようですが、この台風は「あの広島型の原子爆弾」の二万個分のエネルギーを持ってきていると言っています。

また、一度の爆発により、北米のみならず、遠く離れた日本にまで冷夏をもたらした、エルチジョン火山の噴火のエネルギーが、自然界に底しれない力、人類の科学・文明を持ってしても、どうにもならない力がある。

二百十日、今年も恒例の防災訓練が行なわれた。台風・地震など自然災害を防ぐことはむずかしいけれども、被害を最少限に抑止める努力と、二次的な人災を起さないことが大切である。この防災の日を契機として、我々一人一人が万一の場合何をすべきか、考えておく必要がある。

「ヤブ」

厳しい酷暑もようやく弱まり、過しやすい頃となりました。今年の夏も、西日本の異常暴風雨・東北地方の異常低温等、異常気象という言葉をよく耳にしました。が、この異常気象とは、三十年以上に一回のまれな現象を言うそうです。県下でも、春先からの低温、梅雨明けの大巾な遅れ、顕著な日照不足、季節はずれの降雪等、正に異常気象・冷夏でした。ところが、一転して立秋を過ぎた頃からは「酷暑」残暑が厳しく、遅れが心配されていた水稲を中心とする農作物の生育もかなり挽回されました。

また、降雨も不規則であり、特に、八月初めに東日本を襲った台風崩れの温帯低気圧による一日の雨量は、八月としては観測史上最高の二百何十ミリと言われている。各地に大きな爪跡を残しました。この低気圧がもう少し西側を通っていたら、「天竜川の恒久対策」を前に再び大きな被害を受けたくもありません。



さあ！みんなて走ろうよ。

明日の竜丘をえよう!!

竜丘フォーラム誕生

◆ 今から十四年後は二十一世紀——魅力のある、活力のある竜丘をつくらうとの呼び掛けで竜丘フォーラムが結成されました。国・県・市等の行政任せでなく自分たちの地域は自分たちの考えで、住みよい豊かな地区にしたいとの願いがあります。

◆ 一人ひとりが、竜丘を考へ意見を述べる場、学習をする場、その中から何かを實踐できたならば幸いです。たとえ小さな事でも……

去る七月二十二日、竜丘公民館において「竜丘フォーラム第一回集会」(仮称)が開催されました。

この集会は、公民館文化委員会が中心となり準備を進め、公民館発行のチラシなどにより地区内へ参加の呼び掛けにより当日の開催となりました。

この「フォーラム」とはもともと集会所という意味があり、現在では自由に意見の述べられる場という意味で使われているとのこと。

それでは、当日の様相をレポートしてみます。

開会・あいさつに続き、経過報告が行われ、この中で、来年は市の基本構想が策定されるので、その一翼を担う意味合いもあるとのこと。

さらに当日の出席者四十名全員の自己紹介が行われましたが、年齢・性別・職種もそれぞれですが、明日の竜丘を考へようとしてい

る事が自己紹介を通じ伝わってきました。

協議に入り、「基本的な考へ、方針」については、地域づくりを他人にまかせず、自分たちの手で豊かなふるさとづくりを實踐する。21世紀を展望して、明日の竜丘を考へる学習の場とする。と決定されました。

「基本的なテーマ」については、活発な議論が展開されましたが一応原案として決定されました。

「会の名称」は出席者が一番頭を悩ませた(?)難問で名案が出ず次回へ宿題となりました。

「会の運営」については運営委員を各地区二名程度出し今後の運営に当たり、今後の進め方として、当面現状の把握を中心に行うことになりました。今後は毎月一回のペースで、毎月二十一日を定例会として開催することになりました。

また、講師として出席した、撮影当時の公民館長の北沢小太郎さんからは、撮影の貴重な裏話も聞くことができ、撮影の苦勞を知ることができました。

なお、宿題だった会の名称については、幾つかの案がでましたが次回へ持ち越しとなり、閉会しました。

なお、公民館では次回第三回集会を九月二十一日午後七時三十分より、市の第三次基本構想の素案について学習会を行いますので、地区の皆さんの出席を呼び掛けています。

教育施設の充実を

このほど竜丘自治会では現在の竜丘保育園の移転改築を求め市へ陳情した。同保育園は定員百人を昭和四十二年にスタートした

が建物老朽化し狭くなつたうえに排水不良や駐車場の問題等が出されている。又、近年竜丘は人口が増え定員の規模拡大とこれに計りつつあります。

こんな時、治水対策事業や土取り場の跡地利用というかつてない大きな課題が当地域に課せられています。この機会に、桐林の「ゴミ処理場の受入れに加え、迷惑産業といわれるメッキ工場」の積極的な誘致研究に取り組んでみてはどうでしょうか。

そして、先端産業のメッカとしてその周辺を開発整備し、その波及効果を他の地区に及ぼすことを考へることが、竜丘の活性化の原点とならないでしょうか?

私の提言

Uターンというには遅すぎる今、浦島のような状態で飯田へ帰って早くも九年が経ちました。

時又で高校卒業まで育ち、十七年間の長い都会生活を経験してきた私も、市内本町に小さな建築設計事務所を開いて六年目、やっと骨を埋めるこの地に根をおろす実感が湧いてきた昨今ですが、「飯田市未来四十人会議」への参加という出来事はそんな私にいくつもの示唆を与えてくれました。

(一) 我々の地域の抱える問題は何と多く、何と難かしいんだらうか?

(二) どうして、それらもつとまうまいかなんだらうか?

こんな素朴な問題については誰もが何かにつけて経験し考へていることです。四十人会議では、それらを自由な立場で発言し合い色々な考へをもっている人達のいることを知り、勉強させてもらって、素晴らしい企画でした。

背水の陣で望む

時又 松下重雄



多くの問題は、方向づけの固まらない早い段階からより多くの関心を持つ市民の参加によって、意見交換・審議され、立案・決定から実行に移されるような、手法的導入が望まれます。市民の主体性が強く求められ

情報化が進み、めまぐるしく価値感の多様化する社会のウズの中にあつて地域の発展を考へる時、その手法も旧態依然なものでは良き未来は創出されようがありません。

市民から行政へ注文をつ



楽しい楽しい昼食会 7月13日 若妻会お楽しみ会にて

スポーツの秋、今回で四回連続県大会出場した桐林、関島文男さんを訪ねた。

「アーチェリーとの出会いが「四年程前、松川で開かれた身障者スポーツ教室に槍投げに挑戦しようと言われ、そこでおこなわれていた時から。その時は、なにげない気持ちでフォーラム等の基本を教わり、実際に射ってみると的に当たるところか、右にいたり、左へいたり、なかなか思うようにならない。なにかさうぞうでも何本か当たると、その時の「爽快さが忘れられない」と関島さん。以来本格的にアーチェリーを始められ、現在では毎朝一時間ほど練習を積んでいるそうです。

「的に当たった時、それは、魚釣をして魚がかかった瞬間の、あの気持ちに似てく修正されたり、余りにも競技場に走ったりする点については疑問を残す所ですが、今後の検討課題であるとして、この間に培った各班の団結力と技術の向上は火災の際に必ず発揮されることと確信するものです。

今後さらに、地域防災のため頑張る所存ですので一層の協力をお願いします。

本決まりとなっている児童センターは建設に伴ない旧図書館の取り壊しの日程も具体化し先日は、同館になじみの深かった方々の「お名残り会」も行なわれた。

児童センターは来年二月末までに完成の予定がされており子供達の遊びの場として、充実された施設、常勤の厚生員を置くなどの内容で児童の健全育成を目的としている。厚生省と文

ではならないでしょう。消防団では、地域の防災のために進んで活躍できる青年を求めています。仕事との両立の点など困難な状況を克服して男同志のつぎ合いの中で人間形成の場としても有意義です。

今年度、地域防災のため頑張る所存ですので一層の協力をお願いします。

みごと優勝!!長野原

市消防技術大会

消防団は地域防災の要として大きな期待が寄せられている中で、今日まで諸活動を展開してきました。

特に火災予防に関しては常に力を注いできた訳ですが残念ながら九月十二日に火災が発生してしまいました。幸い大事には至りませんでした。火の取り扱いは充分すぎる程の注意をはらっていただきたいと思います。

さて、今日までの諸活動の中で最大の行事であった消防技術大会で、長野原班が小型ポンプ操法の部において、飯田市大会で優勝し



我が団員の勇姿

今年度は大きく要綱が改正され、新しい操法が余儀なくされました。消防技術の基本が毎年のように大き

ななじみの薄いスポーツというところもあって、まだまだ競技人口が少ないアーチェリーですが、「基本を習えば親しみやすく、老若男女問わず出来るスポーツを地域の中へ広めてゆきたい」と。その為には、「公民館事業の一つとして講習会などを開く事が出来ればもっと多くの人達に楽しんでもらえるのでは」と語ってくれました。

昨年は県大会は惜しくも二位、今年こそは……と練習に熱がはいっている関島さん。アーチェリーの輪が広がることを祈り、筆をおきます。



我が団員の勇姿

市民基本台帳法が、六月一日から改正され「あの人の人」を今回の館報から掲載を中止します。

今回の同法改正は、住民のプライバシー保護のため公開を制限したものです。

大会結果

- ▼ゲートボール大会 6/1
 - 男子優勝 上川路分館
 - 女子優勝 長野原分館
- ▼バドミントン大会 6/1
 - 優勝 時又分館
 - 二位 長野原分館
- ▼市女子ソフト大会 8/30
 - 竜丘対羽場 2-1
- ▼男女混合バレー大会 9/7
 - 優勝 駄科分館
 - 二位 桐林分館

おまけ

住民基本台帳法が、六月一日から改正され「あの人の人」を今回の館報から掲載を中止します。

今回の同法改正は、住民のプライバシー保護のため公開を制限したものです。